

長野県立大学学長 殿

長野県立大学動物実験専門部会

2024 年度 動物実験の実施における自己点検・評価に関する報告書

長野県立大学動物実験細則第 24 条第 1 項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 動物実験に関する自己点検・評価報告書

別紙のとおり

2. 全般内容に関する項目

① 本学での動物実験従事者数

動物実験責任者数 0 人（実数）

動物実験実施者数 0 人（実数）

② 動物実験計画書の審査のまとめ

新規	許可件数	0 件	変更	許可件数	0 件
----	------	-----	----	------	-----

	不許可件数	0 件		不許可件数	0 件
--	-------	-----	--	-------	-----

	取下げ件数	0 件		取下げ件数	0 件
--	-------	-----	--	-------	-----

③ 動物実験に関する現況調査票

別紙のとおり

④ 動物種ごとの飼養数

別紙のとおり

3. 個別内容に関する項目

① 動物実験の実施状況

② 飼養保管施設の管理状況

③ 実験室の管理状況

別紙

動物実験に関する自己点検・評価報告書

(長野県立大学動物実験専門部会)

2025 年 9 月

I. 体制等の整備状況

1. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 長野県立大学動物実験規則等により動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「長野県立大学動物実験細則」 「長野県立大学動物実験施設飼養・保管マニュアル」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 上記細則およびマニュアルに動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められていることから。
4) 改善の方針、達成予定時期

2. 実験動物の飼養保管の体制

(実験動物の飼養保管施設が把握され、施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 ☒ 長野県立大学動物実験規則等や実験動物飼養保管マニュアルに適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「長野県立大学動物実験細則」 「長野県立大学動物実験施設飼養・保管マニュアル」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 本学内に飼養保管施設は「動物飼育室」のみである。 実験動物管理者が当該施設内に常駐しているわけではないものの「長野県立大学動物実験細則」「長野県立大学動物実験施設飼養・保管マニュアル」に基づき、動物実験を実施する際には「長野県立大学動物実験計画書」に責任者名を明記することとされていることから。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. その他

(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

--

Ⅱ．実施状況

1．動物実験専門部会

(動物実験専門部会は、規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ☒ 長野県立大学動物実験規則等に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 なし
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 2024年度の動物実験の実施件数は0件であるが、実験を行う際には動物専門部会により審査を実施することとされているため。
4) 改善の方針、達成予定時期

2．動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

: 該当なし

1) 評価結果 ☐ 長野県立大学動物実験規則等に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☐ 長野県立大学動物実験規則等に適合し、当該実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☒ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 なし
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管マニュアル等により適正に実施されているか?)

: 該当なし

1) 評価結果 ☐ 長野県立大学動物実験規則等に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期

5. 施設等の維持管理の状況

(飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☒ 長野県立大学動物実験規則等に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 なし
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 目視により実験施設内に修理等が必要な個所が見当たらなかったことから。
4) 改善の方針、達成予定時期

6. 教育訓練の実施状況

（実験動物管理者、動物実験実施者等に対する教育訓練を実施しているか？）

1) 評価結果 ☒ 長野県立大学動物実験規則等に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「長野県立大学動物実験施設飼養・保管マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「長野県立大学動物実験施設飼養・保管マニュアル」に基づき、実験を実施する研究者はオンラインの研究倫理教育を受講することとされているため。
4) 改善の方針、達成予定時期

7. その他

（動物実験の実施状況において、部局特有の点検・評価事項及びその結果）

公私動協（公私立大学実験動物施設協議会）が実施する外部検証について、本学では 2025 年度も動物実験の予定がなく、外部検証の申請時期を見送っている。今後、教育・研究で動物実験を再開する場合には、速やかに外部検証を申請し、2026 年度以降の受審を計画したいと考えている。